



## フィリピン人から見た日比間の交流と協力

2009年度 第1回 2009年8月12日(水)

講師: 二瓶 麻里 (Mari "Mayang" Nihei)

(特活) 日本ヌエバエシハ・ファウンデーション 代表理事

### 【学習目標】

フィリピン社会から見た日本との交流・協力について考え、課題を共有する。

### 子育ての傍ら日比交流を実践

2人の子どもが大きくなり時間の余裕もできたので、フィリピンと日本をつなぐ活動を始めました。

学校の子どもたちやお母さんとともに、フィリピンのダンスや料理を紹介する交流プログラムや、在日フィリピン人コミュニティや大使館と協働したコンサートなどのイベントを企画・運営してい

ます。またフィリピン国内でも献血普及支援や植樹運動を行うほか、日本で集めた古着や車いすなど中古品を送り届けています。“フィリピンと日本の橋渡し”ができるよう、日々活動しています。

### 日本人との結婚に反対した祖母の気持ちに変化が

日本人の夫との結婚に対しては、戦争のイメージもあり祖母から強い反対を受けました。私は日本に暮らしてもう30年近くになります。この日本という国を愛していますし、たくさんの方にお世話になりました。「どうしたらこの国と人たちに恩返しができるか」と考えるようになりました。

例えばフィリピンのラジオ番組に、国際電話を通じて定期的に出演しています。そこで、ゴミの分別がきちんとしている日本の習慣や、中古の車いすを頂いたお話など、この国での生活を紹介しています。フィリピンでは電気がなくともラジオを聞く家庭は多く、私の祖母もリスナーの一人。

「遠くから、あなたの声を聞いています。日本の人々にありがとうと伝えてください」と、以前言ってくれました。日本人を憎むフィリピン人の気持ちも、次第に変化してきていると感じています。

一人の力は小さい。私自身、高校しか出ていない普通のお母さんにすぎません。しかし、その小さな力が集まれば、誰にでも“何か”ができると知りました。

### 講師紹介

### 元気で悔いのない人生を生きたい

私の考える成功とは、自分が学び、学んだことを人と分け合い、人を愛し、愛される人になるということ。そのためにはまず元気であること。元気でないと家族や他人の面倒をみて、たくさん愛することができませんから。人に愛され、かわいがってもらい、世界中の人々と出会って、楽しく生きていきたい。人生は一度

きりですから、後悔のないよう生きていきたいと思っています。



### 二瓶 麻里

(Mari "Mayang" Nihei)

(特活) 日本ヌエバエシハ・ファウンデーション代表理事